



2024年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月14日

上場会社名 株式会社リファインバースグループ 上場取引所 東
 コード番号 7375 URL https://www.r-inverse.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 晶
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 蓮池 智嗣 TEL 03(6281)4879
 定時株主総会開催予定日 2024年9月25日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2024年9月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期の連結業績(2023年7月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	3,852	△13.8	32	△84.5	6	△96.3	4	—
2023年6月期	4,472	19.8	211	△19.7	176	△16.9	△504	—

(注) 包括利益 2024年6月期 4百万円(—%) 2023年6月期 △504百万円(—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	1.47	—	8.2	0.2	0.8
2023年6月期	△151.81	—	△168.0	5.0	4.7

(参考) 持分法投資損益 2024年6月期 -百万円 2023年6月期 -百万円

(注) 2023年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。2024年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	3,365	130	1.9	19.57
2023年6月期	3,783	99	1.5	16.54

(参考) 自己資本 2024年6月期 65百万円 2023年6月期 55百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	175	△136	△399	498
2023年6月期	530	△317	△266	859

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年6月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,145	7.6	230	603.9	195	—	175	—	52.36

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期	3,348,421株	2023年6月期	3,338,221株
② 期末自己株式数	2024年6月期	137株	2023年6月期	137株
③ 期中平均株式数	2024年6月期	3,342,245株	2023年6月期	3,325,471株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年6月期の個別業績(2023年7月1日~2024年6月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	400	△16.5	△129	—	464	—	464	—
2023年6月期	479	53.9	26	—	7	—	△571	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期	139.00	—
2023年6月期	△171.86	—

- (注) 1. 個別経営成績について、子会社の売上高減少に伴う経営指導料が79百万円減少したことにより売上高が減少し、これに伴い営業利益が減少しております。また、子会社である株式会社ジーエムエスからの期末配当を受け、受取配当金600百万円を営業外収益に計上したことにより、経常利益および当期純利益が増加しております。なお、前期は関係会社株式評価損558百万円の特別損失を計上しておりましたが、当期は重要な特別損失の計上がないことも、当期純利益が増加している要因となります。
2. 2023年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。2024年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	630	60	△0.7	△1.29
2023年6月期	565	△429	△83.9	△142.07

(参考) 自己資本 2024年6月期 △4百万円 2023年6月期 △474百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
（1）当期の経営成績の概況	2
（2）当期の財政状態の概況	3
（3）当期のキャッシュ・フローの概況	4
（4）今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
（1）連結貸借対照表	5
（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
（連結損益計算書）	7
（連結包括利益計算書）	8
（3）連結株主資本等変動計算書	9
（4）連結キャッシュ・フロー計算書	10
（5）連結財務諸表に関する注記事項	12
（継続企業の前提に関する注記）	12
（セグメント情報等）	13
（1株当たり情報）	16
（重要な後発事象）	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度において当社グループは、前期に引き続き既存事業で徹底したコスト削減を進めながら、今後の成長の核となる新規事業領域の拡大に向けて、持続的な成長のための事業基盤の強化、推進に努めてまいりました。また、脱炭素やサーキュラーエコノミーの文脈において事業機会が相当数増加しており、事業化の取組みを加速しております。従来の廃棄物処理モデルの変革を進め、新しい産業の創出により社会の持続的発展に寄与することを目的に活動を続け、素材再生企業として独自技術によるユニークなビジネスモデルでマテリアルサイクルを実現し、資源循環において新たな付加価値を創造するS X（サステナビリティ・トランスフォーメーション）に挑戦しております。

素材ビジネスにおいては、ライセンス関連売上が翌期以降にずれ込みましたが、当社の主力製品である再生塩化ビニルコンパウンド「リファインパウダー」の需要は旺盛であり、再生ナイロン樹脂「REAMIDE®」（リアミド）はPCR（Post Consumer recycle）ナイロンであることが強みとなり多数のお問合せをいただいております。加えて、国内外を問わず外部企業等との連携や弊社技術のライセンス供与等の取組みも加速しており、更なる成長のための基盤拡大が進展しております。また、ソリューション事業においては、コンサルティング受託が堅調に推移しており、製鋼副資材の用途開発、ライセンス提供先への技術指導などにより収益・利益の増加に貢献しております。

資源ビジネスにおいては、前期に実施したコネクション社買収に伴う一時的な売上増の影響により減収となるもののPMI（Post Merger Integration）は予定通り完了し翌期以降の業績拡大を見込んでおります。

また、資本業務提携先である三菱ケミカル株式会社が計画する油化ケミカルリサイクル事業への廃プラスチック原料供給に向けて、廃プラスチックを核とする資源循環プラットフォーム構築を新たな事業の柱として収益基盤の強化に努めてまいります。

この結果、当連結会計年度における経営成績は、売上高3,852,638千円（前期比13.8%減）、営業利益32,675千円（前期比84.5%減）、経常利益6,569千円（前期比96.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益4,928千円（前期親会社株主に帰属する当期純損失504,840千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、記載のセグメント別の金額はセグメント間取引の相殺前の数値です。

① 素材ビジネス

素材ビジネスにつきましては、前期に引き続きセグメント損益は黒字で推移しております。脱炭素、資源循環の市場ニーズの高まりを受け、廃カーペットタイルを再資源化した再生塩化ビニルコンパウンド「リファインパウダー」の需要は大幅に増加しており、一時的に需給ギャップが発生したためカーペットタイルリサイクル事業の売上高は前期比微減となりましたが、需要増に対応するため廃カーペットタイルの調達を強化してまいります。また、自動車エアバッグの基布や廃棄漁網等を再資源化したナイロン樹脂「REAMIDE®」（リアミド）は、PCR（Post Consumer recycle）ナイロンであることが強みとなり高付加価値な用途での引合いが増加しております。当期は引合い案件の製品評価を進めており受注に至らず売上高は前期比減となりましたが、翌期以降での受注開始を見込んでおります。また、当期予定していたライセンス売上は、ライセンシーの許認可取得スケジュールが遅れたため翌期以降での計上となる見込みです。また、国内外の複数の企業から当社リサイクル技術に関する問合せを受けており、ライセンス提供を視野に協議を続けてまいります。このように、当社の再生素材、リサイクル技術に対する引合いは増加しており、収益機会が拡大しております。

この結果、売上高は1,391,313千円（前期比12.5%減）となり、セグメント利益は122,220千円（前期比26.3%減）となりました。

② 資源ビジネス

資源ビジネスにつきましては、前期に実施したコネクション社買収に伴い増加した顧客の取引条件、与信状況の見直しを行なった結果、取引件数が大幅に減少いたしました。一方で、脱炭素・サーキュラー文脈での営業強化により大手ディベロッパーや大手ゼネコン等の新規取引先が相当数増加しました。当期においては取引件数の減少が先行したため前期比で売上高減少となりましたが、翌期以降、新規取引先との大幅な取引数拡大を見込んでおります。また、オペレーションの見直しやリソースの最適化を進め、前期対比で売上高減少となりましたが、収益性は改善いたしました。更に、資本業務提携先である三菱ケミカル株式会社が計画する油化ケミカルリサイクル事業に対する廃プラスチック原料の調達網の整備を進めており、翌期以降の収益基盤の強化を進めてまいります。

この結果、売上高は2,522,992千円（前期比14.5%減）、セグメント利益は486,779千円（前期比12.1%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末（以下「前年度末」という）に比べ417,144千円減少の3,365,918千円（前年度末は3,783,063千円）となりました。

流動資産は1,308,827千円となり、前年度末と比べ368,167千円減少しております。これは主として現金及び預金が増加し、流動負債が増加したことによるものです。

固定資産は2,057,091千円となり、前年度末と比べ48,976千円減少しております。これは、主として有形固定資産が増加し、負債が増加したことによるものです。

(負債)

当連結会計年度末の負債合計は、前年度末に比べ447,651千円減少の3,235,709千円（前年度末は3,683,360千円）となりました。

流動負債は1,010,151千円となり、前年度末と比べ158,900千円減少しております。これは、主として支払手形及び買掛金が減少し、短期借入金が増加し、未払法人税等が増加したことによるものです。

固定負債は2,225,558千円となり、前年度末と比べ288,751千円減少しております。これは、主として長期借入金が増加し、リース債務が増加したことによるものです。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は、前年度末に比べ30,507千円増加の130,209千円（前年度末は99,702千円）となりました。これは、主として新株予約権が増加したことによるものです。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、498,518千円（前連結会計年度末比42.0%減）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は175,415千円（前連結会計年度に得られた資金は530,961千円）となりました。これは主として減価償却費224,395千円、法人税等の支払額96,972千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出された資金は136,557千円（前連結会計年度に支出された資金は317,699千円）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出85,265千円、敷金及び保証金の差入による支出76,857千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出された資金は399,857千円（前連結会計年度に支出された資金は266,263千円）となりました。これは主に長期借入による収入250,000千円、長期借入金の返済による支出502,166千円、リース債務の返済による支出75,015千円によるものであります。

（4）今後の見通し

2025年6月期において当社グループは、2024年6月期に引き続き、既存事業で徹底したコスト削減を進めながら、脱炭素やサーキュラーエコノミーの文脈において増加している事業機会への取組みを更に加速してまいります。

素材ビジネスについては、再生塩化ビニルコンパウンド「リファインパウダー」の需要増大に対応するため原料である廃カーペットタイトルの調達拡大を進めると同時に、生産性改善および製品増産による原価低減を進めてまいります。再生ナイロン樹脂「REAMIDE®」（リアミド）は高付加価値シフトを継続し受注獲得を進めると同時に、生産性の改善に取組み製造原価低減を進めてまいります。更に、ソリューション事業においては、製鋼副資材の品種拡大を進め新たな収益源としてまいります。

資源ビジネスにおいては、新規に取引を開始した大手ディベロッパーや大手ゼネコン等と取引拡大を進めると同時に、油化ケミカルリサイクル向け廃プラスチックの収集網構築を加速してまいります。

以上により、2025年6月期の連結業績の通期見通しは、売上高4,145,000千円、営業利益230,000千円、経常利益195,000千円、親会社株主に帰属する当期純利益175,000千円を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	872,955	511,956
受取手形	2,927	1,713
電子記録債権	8,545	14,994
売掛金	518,474	495,291
契約資産	—	14,784
商品及び製品	163,359	133,328
仕掛品	30,905	24,298
原材料及び貯蔵品	44,466	37,354
前払費用	27,641	30,686
未収還付法人税等	7,217	29,477
その他	3,785	17,454
貸倒引当金	△3,282	△2,512
流動資産合計	1,676,994	1,308,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,267,349	1,269,682
機械装置及び運搬具	1,238,489	1,290,033
工具、器具及び備品	111,159	102,995
土地	520,100	520,100
リース資産	459,829	340,987
建設仮勘定	4,584	—
減価償却累計額	△1,697,065	△1,728,527
有形固定資産合計	1,904,447	1,795,271
無形固定資産	15,092	12,027
投資その他の資産		
投資有価証券	20,000	20,000
繰延税金資産	51,413	47,892
敷金及び保証金	123,002	192,896
その他	20,001	23,428
貸倒引当金	△27,888	△34,425
投資その他の資産合計	186,529	249,791
固定資産合計	2,106,068	2,057,091
資産合計	3,783,063	3,365,918

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	189,384	152,046
短期借入金	100,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	481,980	475,224
リース債務	71,316	65,613
未払金	95,358	104,540
未払費用	93,388	108,032
未払法人税等	62,898	11,047
未払消費税等	48,521	26,273
賞与引当金	3,868	—
受注損失引当金	13,224	690
その他	9,110	16,683
流動負債合計	1,169,051	1,010,151
固定負債		
長期借入金	2,204,074	1,958,664
リース債務	134,431	109,264
繰延税金負債	8,599	53
資産除去債務	156,653	157,575
その他	10,551	—
固定負債合計	2,514,309	2,225,558
負債合計	3,683,360	3,235,709
純資産の部		
株主資本		
資本金	160,196	162,885
資本剰余金	201,080	203,768
利益剰余金	△305,804	△300,876
自己株式	△251	△251
株主資本合計	55,220	65,526
新株予約権	44,481	64,682
純資産合計	99,702	130,209
負債純資産合計	3,783,063	3,365,918

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,472,006	3,852,638
売上原価	3,105,110	2,638,332
売上総利益	1,366,895	1,214,306
販売費及び一般管理費	1,155,565	1,181,630
営業利益	211,329	32,675
営業外収益		
受取利息	29	15
受取配当金	11	11
助成金収入	3,450	3,421
受取賃貸料	2,259	—
保険解約金	—	2,166
その他	5,165	769
営業外収益合計	10,916	6,383
営業外費用		
支払利息	28,438	31,889
減価償却費	9,915	—
開業費償却	3,936	—
雑損失	359	416
その他	2,647	182
営業外費用合計	45,298	32,489
経常利益	176,947	6,569
特別利益		
固定資産売却益	15,534	30,507
新株予約権戻入益	928	1,107
特別利益合計	16,463	31,614
特別損失		
固定資産除却損	6,838	3,261
固定資産売却損	0	—
減損損失	223,303	14,086
のれん償却額	439,699	—
その他	1,208	1,385
特別損失合計	671,051	18,732
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△477,639	19,451
法人税、住民税及び事業税	75,409	19,547
法人税等調整額	△48,208	△5,023
法人税等合計	27,201	14,523
当期純利益又は当期純損失(△)	△504,840	4,928
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△504,840	4,928

（連結包括利益計算書）

	（単位：千円）	
	前連結会計年度 （自 2022年7月1日 至 2023年6月30日）	当連結会計年度 （自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）
当期純利益又は当期純損失（△）	△504,840	4,928
包括利益	△504,840	4,928
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	△504,840	4,928
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	152,875	193,758	199,036	△37	545,632	24,425	570,058
当期変動額							
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△504,840		△504,840		△504,840
新株の発行 (新株予約権の行使)	7,321	7,321			14,643	△934	13,709
自己株式の取得				△214	△214		△214
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					—	20,989	20,989
当期変動額合計	7,321	7,321	△504,840	△214	△490,411	20,055	△470,356
当期末残高	160,196	201,080	△305,804	△251	55,220	44,481	99,702

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	160,196	201,080	△305,804	△251	55,220	44,481	99,702
当期変動額							
親会社株主に帰属する 当期純利益			4,928		4,928		4,928
新株の発行 (新株予約権の行使)	2,688	2,688			5,377	△1,241	4,136
自己株式の取得					—		—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					—	21,442	21,442
当期変動額合計	2,688	2,688	4,928	—	10,305	20,201	30,507
当期末残高	162,885	203,768	△300,876	△251	65,526	64,682	130,209

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失（△）	△477,639	19,451
減価償却費	288,703	224,395
のれん償却額	488,554	—
減損損失	223,303	14,086
貸倒引当金の増減額（△は減少）	4,223	5,767
受取利息及び受取配当金	△40	△26
支払利息	28,438	31,889
固定資産除売却損益（△は益）	△8,696	△27,245
売上債権の増減額（△は増加）	106,119	3,163
棚卸資産の増減額（△は増加）	△40,528	43,749
仕入債務の増減額（△は減少）	△49,795	△37,338
新株予約権戻入益	△928	△1,107
未払金の増減額（△は減少）	△44,438	28,934
未払消費税等の増減額（△は減少）	△2,566	△18,206
未収消費税等の増減額（△は増加）	—	△1,678
その他	102,813	12,641
小計	617,523	298,476
利息及び配当金の受取額	40	26
利息の支払額	△31,616	△33,329
法人税等の還付額	16,854	7,215
法人税等の支払額	△71,840	△96,972
営業活動によるキャッシュ・フロー	530,961	175,415
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△27,000	△0
定期預金の払戻による収入	36,000	—
有形固定資産の取得による支出	△125,951	△85,265
有形固定資産の売却による収入	20,479	36,323
無形固定資産の取得による支出	△2,220	△10,918
敷金及び保証金の差入による支出	△573	△76,857
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による支出	△286,549	—
敷金及び保証金の返還による収入	—	170
差入保証金の回収による収入	16,351	—
保険積立金の解約による収入	51,772	—
その他	△8	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△317,699	△136,557

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2022年7月1日 至 2023年6月30日）	当連結会計年度 （自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	—
短期借入金の返済による支出	△50,000	△50,000
長期借入れによる収入	420,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△577,855	△502,166
新株予約権の発行による収入	240	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	13,709	5,244
リース債務の返済による支出	△88,036	△75,015
割賦債務の返済による支出	△34,107	△27,920
その他	△214	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△266,263	△399,857
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△53,001	△360,999
現金及び現金同等物の期首残高	912,518	859,517
現金及び現金同等物の期末残高	859,517	498,518

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービス別に会社又は事業部を置き、各会社又は事業部が取り扱うサービス・製品について包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループでは、会社又は事業部を基礎としたサービス・製品別のセグメントから構成されており、「素材ビジネス」及び「資源ビジネス」の2つを報告セグメントとしております。

「素材ビジネス」は、首都圏を中心に製品の原料となる使用済みカーペットタイルの処分受託を行っており、また調達した使用済みカーペットタイルを切削又は、粉碎加工することにより生成された再生樹脂、自動車エアバッグの製造工程から出る端材や使用済み漁網を裁断、洗浄、熱可塑性して押出加工することにより生成された再生樹脂等を販売しております。「資源ビジネス」は、首都圏を中心に産業廃棄物の中間処理・再資源化事業及び収集運搬事業、オフィス・マンションの解体工事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	素材ビジネス	資源ビジネス	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,521,701	2,950,304	4,472,006	4,472,006
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68,727	1,815	70,543	70,543
計	1,590,429	2,952,120	4,542,549	4,542,549
セグメント利益	165,819	553,935	719,755	719,755
セグメント資産	1,626,386	2,389,901	4,016,288	4,016,288
その他の項目				
減価償却費	162,268	112,942	275,211	275,211
のれん償却額	—	488,554	488,554	488,554
減損損失	210,736	—	210,736	210,736
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	68,962	1,455,969	1,524,932	1,524,932

(注) 1. 「資源ビジネス」におけるのれん償却額には、特別損失に計上したのれん償却額439,699千円を含んでおります。

2. 当社グループは当連結会計年度において、株式会社コネクションを連結に含めており、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、株式取得に伴い発生したのれんが含まれております。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	素材ビジネス	資源ビジネス	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,330,705	2,521,933	3,852,638	3,852,638
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60,607	1,059	61,666	61,666
計	1,391,313	2,522,992	3,914,305	3,914,305
セグメント利益	122,220	486,779	608,999	608,999
セグメント資産	1,493,280	1,721,758	3,215,039	3,215,039
その他の項目				
減価償却費	116,372	97,640	214,013	214,013
減損損失	14,086	—	14,086	14,086
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	71,785	53,990	125,776	125,776

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,542,549	3,914,305
セグメント間取引消去	△70,543	△61,666
連結財務諸表の売上高	4,472,006	3,852,638

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	719,755	608,999
全社費用(注)	△516,246	△587,554
セグメント間消去	2,486	11,206
未実現利益の調整額	5,333	23
連結財務諸表の営業利益	211,329	32,675

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

（単位：千円）

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,016,288	3,215,039
セグメント間の債権の相殺消去	△346,757	△31,330
全社資産(注)	114,954	182,209
未実現利益の調整額	△1,421	—
連結財務諸表の資産合計	3,783,063	3,365,918

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。

（単位：千円）

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	275,211	214,013	13,492	10,382	288,703	224,395
のれん償却額	488,554	—	—	—	488,554	—
減損損失	210,736	14,086	12,566	—	223,303	14,086
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,524,932	125,776	42,248	16,900	1,567,181	142,676

(注) 減損損失の調整額はセグメントに帰属しない遊休資産に係るものであり、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社資産の増加額及び未実現利益の調整額であります。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

減損損失に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。なお、のれんの未償却残高に関しては、該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり純資産額	16円54銭	19円57銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△151円81銭	1円47銭
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	—	—

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるため、記載しておりません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△504,840	4,928
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△504,840	4,928
普通株式の期中平均株式数(株)	3,325,471	3,342,245
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	第2回新株予約権 (新株予約権の数68個 (普通株式6,800株)) 第4回新株予約権 (新株予約権の数305個 (普通株式30,500株)) 第5回新株予約権 (新株予約権の数300個 (普通株式30,000株)) 第6回新株予約権 (新株予約権の数243個 (普通株式24,300株))

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	99,702	130,209
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	44,481	64,682
(うち新株予約権(千円))	(44,481)	(64,682)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	55,220	65,526
1株当たりの純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	3,338,084	3,348,284

（重要な後発事象）

該当事項はありません。